

## 天溪 2016 年「花のスイス・アルプスハイキング 9 日間」

天溪の海外ハイキング入門編「花のスイス・アルプスハイキング 9 日間」を6月20日～6月28日 及び 6月28日～7月6日の2回 続けて行いました。パリのセーヌ川が増水し、過去30年間で最も水位が高くなり、川岸のルーブル美術館やオルセー美術館は一時休館して地下の収蔵品を安全なところに移した事がニュースになるなど、今春の欧州はかなり天候不順。そんな天候のせい、ここアルプスでもこの10年間で1、2を争う残雪量でしたが、両ツアー共に要所で綺麗に晴れ上がり、初夏のアルプスを楽しんで来ました。この度は2ツアー併せてご報告させていただきます。



(朝焼けのマッターホルン7月3日)

### ○グリンデルワルド

出発前に観光局のWebcamsで現地状況をチェックしたところ毎日曇りや雨で、残雪量はスキーができるくらいにタップリと。通常この時期は雪解けが一気に進み、何とかなると思いつつ6月20日最初のグループはスイスに到着。ハイキング初日のフィルス・グロースシャイディックは雨模様でしたがホテルに戻って夕食後、一気に雲が上がりアイガー北壁が現れました。それから2週間、半日程度の曇天・小雨は有りましたが、概ね快晴に恵まれ素晴らしいハイキングが出来ました。



(フィルス6月29日)





○メンリッヘン

アイアガー、メンヒ、ユングフラウのベルナーオーバーラント三山が美しいメンリッヘン。今年は残雪が多く花など期待できないと思っていましたが、とんでも無い、クロッカスや翁草の群生が残雪脇に所狭ましと咲いていました。一方、多量の残雪は面白い現象を作ってくれました。と言うのは、何時もは無い所に小池が出現し、池に三山を入れた最高の撮影ポイントを提供してくれました。



(アイガー・メンヒ 6月22日)





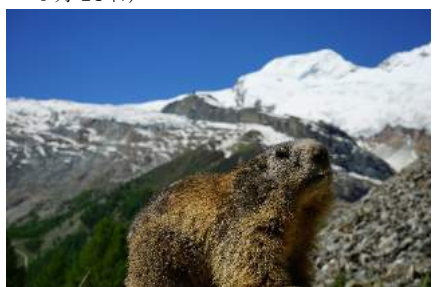
(ベルナーオーバーラント三山 6月23日)

### ○サースフェー

静かで落ち着いた雰囲気のある村、サースフェー。この人気の一つがマーモットの獲付けですが、そのポイントに登るロープウェーが撤去されていました。残念に思いながら反対方向のプラッテンに登り、ホークの形に例えられるミシャベル山群を眺めながら下って来ると住家に移したかの様にあちこちにマーモットが現れました。



(サースフェー 6月24日)



### ○ツェルマツト

'ツェルマツトに行ってもマッターホルンが見えなかった'という話を耳にします。天溪ツアーはツェルマツトで2泊するせいか、この時期に30回近く訪れて全く見えなかったことは一度も有りません。ツアーを行う6月下旬から7月上旬のこの

時期は天候が安定するのか、はたまた運が良いのか?? 今年は2回共にラッキーにも写真のような朝日に染まる素晴らしいマッターホルンを見ることができました。



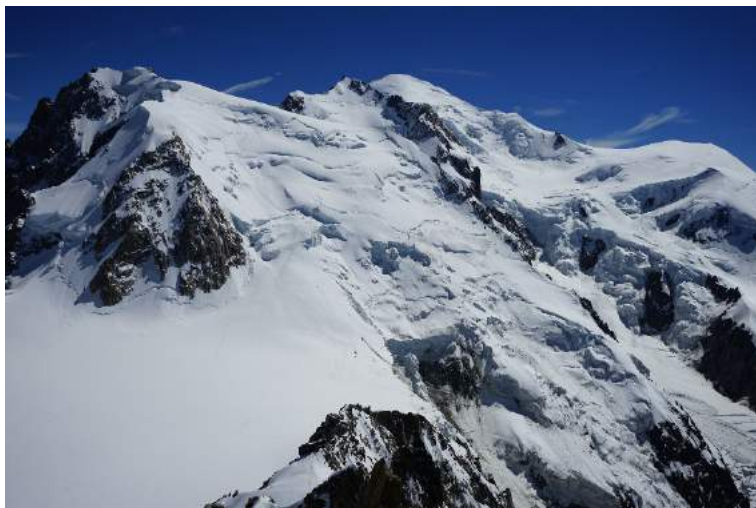
(翁草 6月26日)



(マッターホルン北壁 6月25日)

### ○シャモニ

ツアー最後の地はフランスのシャモニでジュネーブから約80Km、車で1時間程の所に位置します。(名水のエビアンは約120Km)街から望む西欧最高峰のモンブラン(4810m)は丸みを帯びて少々迫りに欠けませんが、独立峰の威厳をもっています。夏至に近い真夏の21:30分、久しぶりに夕日に紅く染まる美しいモンブランを見ることが出来ました。



(モンブラン7月4日)



残念ながら今年の「花のカナディアンロッキー9日間」は都合によりお休みです。

次回は7月11日発 並びに7月20日発「モンブラン・マッターホルン縦走10日間」 続いて7月25日発「スイス・アルプス縦走10日間」をお伝えします。

記 天溪 赤沼